

臨床研究のための

# Stata マニュアル

## 正誤表と解説 / Stata 10 での変更点

NPO 法人 健康医療評価研究機構 (iHope)

ver. 1 (2008 年 11 月 18 日 作成)

臨床研究のための Stata マニュアル初版分 (2008 年 1 月発行) につきまして、本文中に誤記・誤植等がございました。深くお詫び申し上げます。

また、本書は Stata 9 を対象とした内容になっているため、Stata 10 では本書の内容どおりに動作しない場合がございます。

読者の皆様にはぜひ本表を併せてお読みいただき、Stata マニュアルをご活用くださいますようお願いいたします。

マークの意味

**正誤**

誤記，誤植など

**解説**

説明が不足していると思われる部分を補足

**Stata 10 変更**

Stata のバージョンアップに伴う変更箇所

## 第 1 章 Stata 操作の基礎

p.8  
下から 3 行目

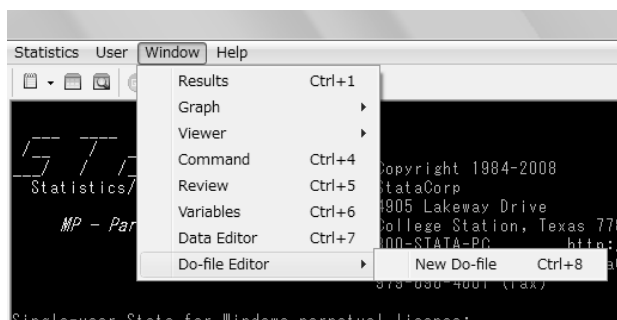
### 正誤

- × データビューア (Data Viewer)  
データブラウザ (Data Browser)

p.11  
☒ 1-10

### Stata 10 変更

Stata10 では, のアイコンが変更されています。  
変更後の画面



## 第 4 章 グラフの作成

p.37  
ページ最下  
部  
例)

### 解説

histogram age と入力すると、結果ウィンドウに

```
. histogram age
(bin=13, start=14, width=2.3846154)
```

と表示されます。

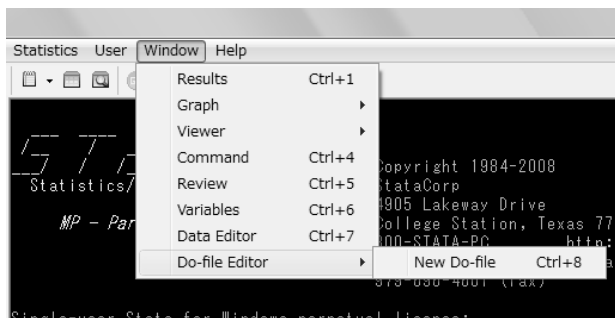
p.38 のグラフは、グラフを表示するためのグラフウィンドウが別に開きますので、そこに表示されます。

p.11  
図 1-10

### Stata 10 変更

Stata10 では、 のアイコンが変更されています。

変更後の画面



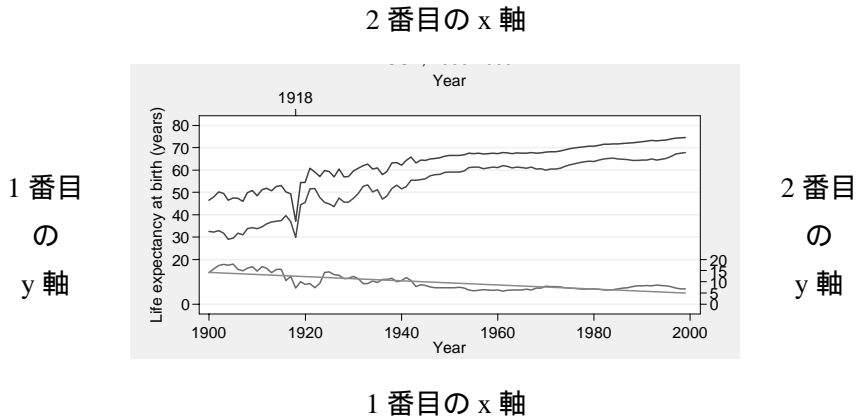
p.44  
ページ中段  
「それ  
では、実際に  
データを測  
定して見ま  
しょう。」以  
下

### 解説

ページ下部に示したコマンドの 1 行目にある

```
yaxis (1 2) xaxis (1 2)
```

は、それぞれグラフ左右の y 軸、グラフ上下の x 軸を目盛りとして用いるためのオプションです。できあがったグラフ (p.45 図 4-9 ) には折れ線が 4 本ありますが、yaxis および xaxis オプションは、最初の twoway (line ...) コマンドに指定するだけで全体に適用されます。



これらのオプションを指定しなくても, Stata は規定値どおりのグラフを出力してくれます。しかし美しいグラフを書くためには, いろいろなオプションを設定して細かい指示を出す必要があります。例に示した各種オプションを省略した場合, どのようにグラフが変化するのが観察してみるのも良い練習になるでしょう。

p.45 6.  
メニューバ  
ー

**正誤**

この項ではシステムデータ `bplong.dta` を使います。240人の血圧データです。詳細はマニュアル巻末の付録を参照してください。

p.46 図  
4-11  
~

**Stata 10 変更**

Stata 10 ではウィンドウの表示が異なります (図 4-11)。まず, [Categories] タブをクリックします。

p.48 図  
4-15

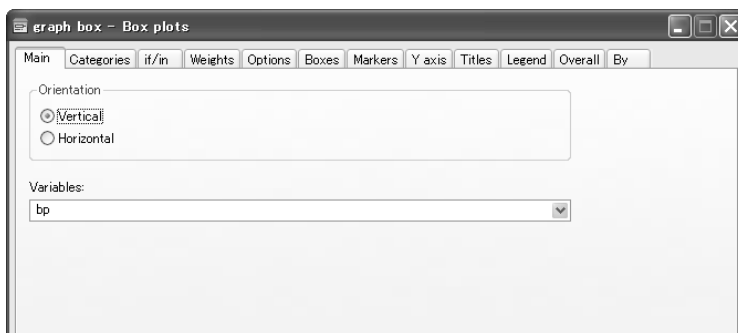


図 4-11

Group 1 のチェックボックスにチェックを入れ、ポップアップメニューから[when]を選択します。同様に、Group 2 のチェックボックスにチェックを入れ、ポップアップメニューから[sex]を選択します(図 4-12)。

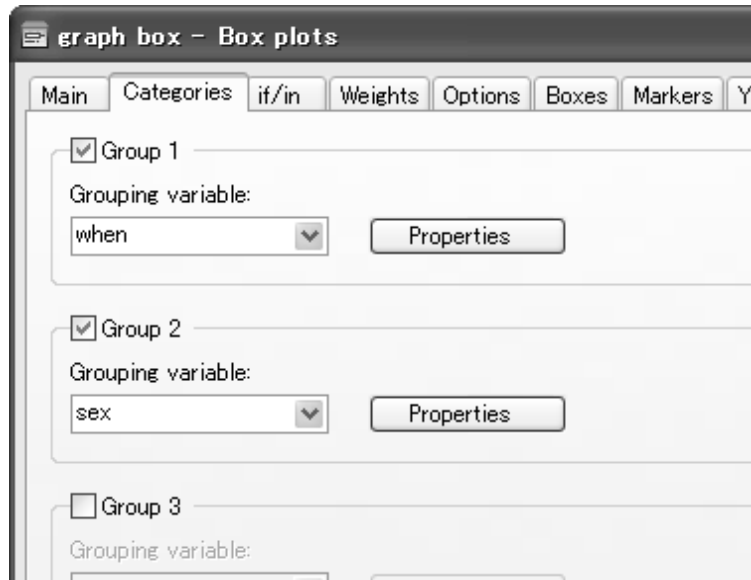


図 4-12

[Y-axis]タブをクリックして、Stata 9 と同様 Title を入力します(図 4-13)。

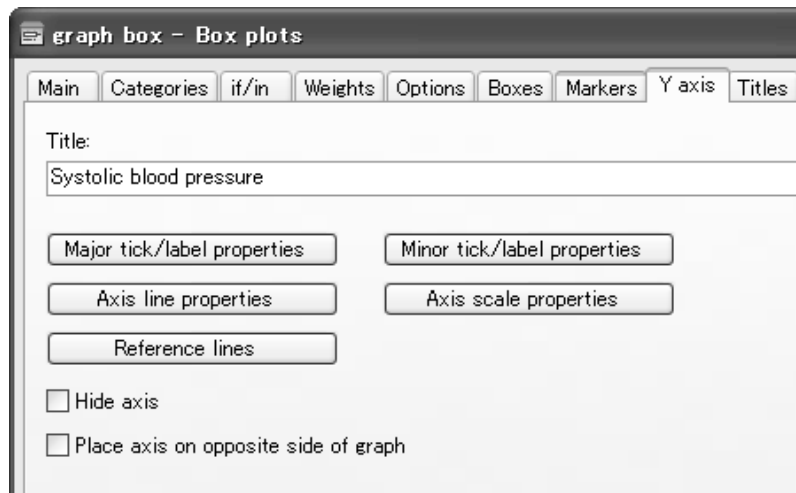


図 4-13

[Y-axis]タブをクリックして，Stata 9 と同様に入力します。さらに，Note に Source: Fictional Drug Trial, Stata corporation と入力します（図 4-14）。Stata 10 には，p.48 図 4-15 の画面はありません。

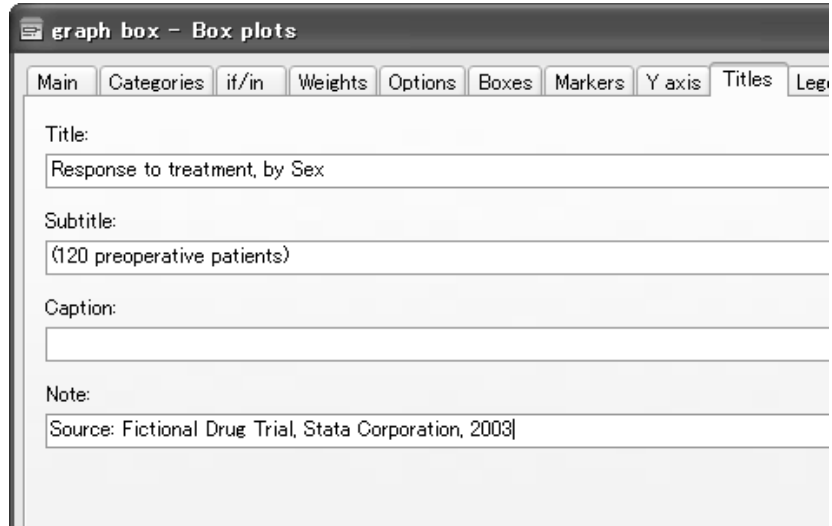
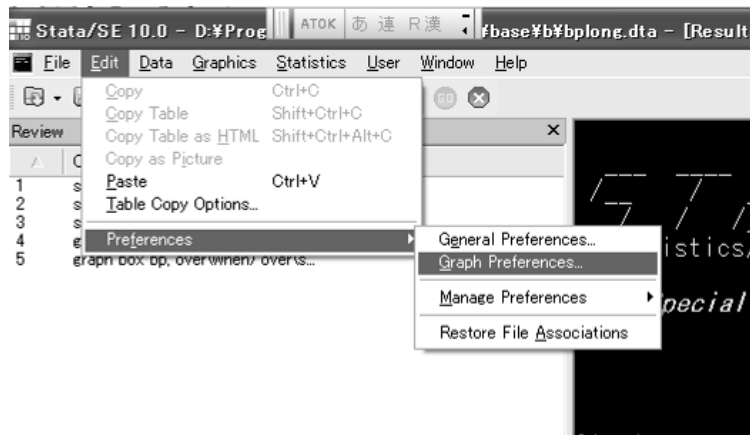


図 4-14

p.48  
図 4-16

**Stata 10 変更**

Stata 10 では，メニューバーの[Edit]から[Preference] [Graph Preference]を選択します。



## 第 5 章 2 群間の比較

p.64 例)

### 正誤

コマンドの 1 行目に誤りがあります。

- × `. ranksum bwt, by (smoke)`  
`. ranksum mh_s2000, by (gender)`

p.65  
下から 2 行目

### 正誤

- × `signrank 変数 1 == 変数 2`  
`signrank 変数 1 = 変数 2`

## 第 6 章 カテゴリカルデータの解析

p.72(書式)

### 正誤

- × `cc case 変数 expose 変数`  
`cc case 変数 expose 変数`
- × `cs case 変数 expose 変数`  
`cs case 変数 expose 変数`

## 第 7 章 相関・線形回帰分析

p.81(書式)

**正誤**

変数は 2 つ以上使用できません。

- × `correlate` 変数 1 変数 2
- `correlate` 変数 1 変数 2 ...

p.82(書式)

**正誤**

変数は 2 つ以上使用できません。

- × `pwcorr` 変数 1 変数 2, オプション
- `pwcorr` 変数 1 変数 2 ..., オプション

p.82 例)  
(上段)

**解説**

`sig` は p 値を計算して表示するオプションです。

p.88  
下から 7 行目

**正誤**

- × `(lfit lwt, pstyle(p10))`  
`(lfit bwt lwt, pstyle(p10))`

p.91  
図 7-6 の下

**正誤**

- × 対症的  
対称的

## 第 8 章 ロジスティック回帰分析

p.100 (書式)

### 正誤

- × predict new, オプション  
predict 予測値に新しくつける変数名, オプション

p.100

### 解説

ページ中上に示したコマンドの 2 行目にある

```
. graph twoway connected phat age, sort
```

ですが、これは graph twoway connected というコマンドです。これによって、年齢と予測値 phat の関係の散布図の各点を直線で結んだグラフ (図 8-1) を作成することができます。

## 第 9 章 生存時間分析

p.120 ~ 121

### 正誤

- × Schoenfeld 残差  
Schoenfeld 残差

p.120 ( 書式 )  
上段

### 正誤

- × stcox 説明変数, schoenfeld (新変数\*) scaledsch (新変数\*)  
stcox 説明変数, schoenfeld (新変数\*) scaledsch (新変数\*)

p.129  
下から 2 行目

### 正誤

- × stcox 説明変数, schoenfeld (新変数\*) scaledsch (新変数\*)  
stcox 説明変数, schoenfeld (新変数\*) scaledsch (新変数\*)

## 第 10 章 メタ分析

p.128  
( 固定効果モデルのオプション )

### 解説

peto オプションについては、オッズ比以外では使用することができません。